

平成21年6月12日

WHOが新型インフルエンザの警戒水準を「6」に引き上げたことについて
の兵庫県知事コメント

兵庫県知事 井戸 敏三

今回のWHOの宣言は、これから冬に向かう南半球のオーストラリアなどで感染が急拡大していることなど、世界各国で発症が見られることによるものであり、国においては、これに伴う特別の対策は行わず、これまでの対応を続けるとされています。

本県においては、すでに患者の発生は沈静化しており、新たな対策をとる必要はないと考えております。6月3日の「新型インフルエンザひょうご安心宣言」を改めて確認します。

なお、今後も、医療体制を堅持して感染拡大防止に努めるとともに、今秋以降の発生に備え、安全確保に向けた取り組みを着実に実施し、新型インフルエンザ対策に万全を期してまいります。

県民の皆様におかれては、新型インフルエンザを正しく理解し、安心して生活し通常に活動してください。